

# 靖國神社宮司 京極高晴氏 来社



写真中央:靖國神社宮司 京極高晴氏

5月2日に行われました「わさび御料圍祭」に参列を賜り、前日の1日には穂高神社で正式参拝をしました。

わさび御料圍祭は天候もさほど心配する事もなく少々の雨曇りではありましたが賑々しく盛大に斎行しました。

わさび御料圍祭とは、毎年5月2日わさび御料圍と定められている宇留賀様のわさび田にて



職の奉仕により斎行しています。

この祭典がいつ頃から始まったのか定かではありませんが、昭和33年と聞いています。靖國神社に鎮まる英霊に郷土名産のわさびをお召し上がり願いたいとの一念、深いご理解と厚い御支援を賜り実現となりました。

一時中断していましたが穂高遺族会の再興したいとの熱い願いを靖國神社に伝え、平成5年より再び行われ今日に至っています。

発行所  
穂高神社社務所  
創刊 昭和52年2月  
〒399-8303  
長野県安曇野市穂高6079  
電話 0263-82-2003  
FAX 0263-82-8770

穂高地区遺族会、穂高霊社奉賛会合同の祭典で靖國神社2名の神職と穂高神社

靖國神社ではこうした祭典は稀なことであると聞き、地元として大変嬉しく名譽なことであります。

毎年、わさびを靖國神社の春秋例大祭に御奉納しております。

## 安曇野の故郷を訪ねて

穂高神社権柄宜 鷲尾 和浩

5月2日〜4日にかけて「博多どんたく港まつり」と安曇族発祥の地志賀島の旅に宮澤宗弘市長、小平宮司を始め安曇野市民約50名が参加しました。

この旅行が行われる事になったのは、一昨年に「あずみ・しか」ゆかりの全国ネットワーク全国集

会が志賀島で開かれ、昨年の安曇野で行われた安曇族サミットの際に福岡市の高島宗一郎市長が参加され、穂高神社の御船祭りを見学、上高地にも行かれとても安曇野をお気に入りになられた様でした。

このような経緯があり福岡市より「博多どんたく」に招待され、まずはじめに安曇野の故郷志賀島を訪れる事となりました。

志賀島に着いてバスを降りたつと島の多くの方々

に迎えて頂き、「おかえりなさい」と声を掛けられ参加者が感激し親近感がわきました。志賀海神社正式参拝をし、結成一年の金印太鼓の迫力ある演奏を披露頂き盛大な歓迎をうけました。

島を一周することもでき、参加者一同安曇野の故郷を実感し、「親戚の所に来みたい」と言っていた参加者も多くいました。





# 安曇野の先覚者

## 高島章貞と穂高神社

山崎 佐喜治

### 〇はじめに

皆さんは高島章貞という人をご存じですか。かなり昔からこの地に住んでいる方でも、ご存じない方が多いようです。松沢求策や萩原碌山、井口喜源治などはよく知られた郷土の偉人ですが、これらの文化人を生み出す基を作った人が高島章貞だったといつてよいでしょう。



高島章貞  
(1804~1869)  
(征矢野久画)

実際、松沢求策は9歳のとき、高島章貞の開いていた『星園塾』で学んだ一人で、



求策を諭す章貞

(征矢野久画)

自由民権運動で全国に名を馳せた松沢求策は、章貞が60歳を迎える年に、星園塾に9歳ぐらいで入門してきた。文久元年(1861)のことである。求策は勉強が嫌いで読み書き、習字を好まず、落ち着きがなく、友だちと遊んでもすぐけんかを始める悪童であった。手をやいた章貞は、求策を破門したが、父親に諭されて再入塾してからは、「章貞門下の俊英」に変身したという。

はじめはガツタで手に負えない子供だったようですが、後に心を入れ替え、見違えるような優等生になったそうです。章貞はこ

の他にも多くの優れた塾生を輩出させ、彼らがまた郷土の文化人を育てあげたのです。藤森桂谷も若い日に章貞を訪ね、京都上洛への示唆を得たといえます。桂谷も後に立派な安曇野の教育者になります。章貞も六歳で上洛し、香川景樹に和歌・国学を学んだ一人でした。後に儒学・漢学・国学さらに蘭学(オランダ医学)を学び、医者で教育者で書家で歌人で、仏教・神社神道の研究までやったという人です。

そんなスーパーマンが幕末のここ安曇野にいたのです。

### 〇章貞と穂高神社

さて、そんな章貞ですが、実は穂高神社と大いに関わりがあったのです。穂高神社の大鳥居を大門通りからくぐり、橋を渡った左手奥に高い石の筆塚と本を開いた形の顕彰歌碑があります。これらは章貞から学んだ者や門弟たちの造った記念碑で、神社の森の



西の墓地には、神社歴代の宮司らとともに章貞とその家族の墓が祀られています。これは章貞が生涯神社と関わり、神社の研究をし、世に知らしめた功績によるものです。

文化元年（一八〇四年）章貞は高島家の三代目として穂高に生まれます。父も祖父もオランダ医学の外科医で、書にも優れ、塾も開いていた教育者の家系に生まれました。元は松本藩の藩医であったが、祖父の代に藩籍を外され、長崎に出て蘭学を学んだようで、それが代々続いていたのです。

章貞は一三歳の時（一八一七年）蝶ヶ岳を経て上高地に下り、穂高神社奥宮に詣で



高島章貞顕彰歌碑(穂高神社)



穂高岳を拝む章貞

文政元年（1818）、章貞は14歳で穂高岳（上高地）に行き、穂高神社奥宮に詣でた。この時、頭には父の作った有名な句「卯の花や 御岳は雪の白幣」があった。そのときの様子を『善光寺道名所図会』に書き、これが名古屋から出版されて、全国に初めて上高地を紹介した。以後、穂高神社の研究を始め、復古学派の国学を深めて、「安曇族」の歴史研究に励んだ。

納しています。これは大きな木製の額に望月章斎が絵を描き、章貞が歌を書き書いた立派なものでその幾つかは神社資料館に現存しています。当時神社は、地域の教育文化センターでもあって、難しい数学の解き方（和算）を絵馬にして神社に奉納したりしていたのです。こうした神社を大切に思う気持ちや氏子たちに受け継がれ、資料も伴って、やがて穂高神社は国幣小社にまで昇格出来たのです。

ます。この時以来、穂高神社の研究に没頭します。その時書いた「穂高岳記」は有名で、当時名古屋発行の地歴案内書『善光寺道名所図会』に載り、上高地と穂高神社を広く世に知らしめたのです。その後も何回か上高地を訪れ奥社に参拝して棟札に書を残しています。また嘉永二年（一八四九年）頃には、『穂高神社考』という神社に関する論文を書いて、京都九条家石井美濃守（当時の神社本庁に当たる）に提出しています。

章貞と望月章斎が合作奉納した百人一首絵馬

(小野小町)



また、江戸仕込みの町内の絵師望月章斎と組んで「百人一首絵馬」を穂高神社に奉



○章貞と佐久間象山

佐久間象山と章貞は友人で、歳は章貞のほうが七歳上でしたが、章貞は書を象山に教え、象山は章貞に朱子学（儒学）を教えて、ともに師弟関係にあり、兄弟のように親しかったようです。二人は江戸にいた時も、京橋にいた章貞は、象山のいた神田お玉ヶ池を訪ね、信州にあつては明科の石田家の土蔵で、碁会と称して実は国家天下を語り合っていたといわれています。二人とも日記を書かなかつたから、正確な記録はないのですが。

象山は藩のお抱え学者で、海外の情報を得やすく、それが新しい知識を得たい章貞には好都合でした。嘉永六年（一八五三年）ペリーが黒船で浦賀に来たとき、江戸にいた象山はすぐにかつけましたが、信州にいた章貞はかなわず、大いに悔しがあります。その翌年中国からの資料を基に章貞は『アメリカ伝』という本を書き、海外のことにまったく疎い信州安曇野の人々に初期アメリカ史を日本の歴史と対比させながら紹介しています。

幕末期、世は尊王攘夷論で揺れ動いた不



多くの人材を育てた章貞

晩年の章貞は教育に専念し、多くの優れた門弟を世に送り出した。星園塾を含む高島家3代の門弟は1000人を超えたといわれるが、「章貞様」「穂高の象山さま」「親露章貞入道さま」と村人に尊敬された章貞は、単なる寺子屋レベルを超えて、塾を教える師を養成する、いわゆる師範学校の最たる存在であったという。明治新政府結成の命に従い上洛途上、無念にも琵琶湖畔の旅館で客死、志半ばで生涯を閉じた。味噌汁に毒を盛られての他殺だった。詳細は未だ謎である。

穏な時でした。二人は公武合体して国力を強め国外の圧力にたえていくことを願いましたが、この考えは単純な過激の徒に理解されず、象山は京都の自宅近くで虐殺されました。

象山の死を悲しんだ章貞も五年後、西園寺公望卿の明治新政府設立に応召し、上洛途上琵琶湖のほとりの宿で毒殺されました。六五歳でした。

入会者募集

高島章貞顕彰会（会長 小平弘起）では「安曇野の先覚者高島章貞伝」を出版し、郷土の偉人の顕彰に務めています。皆様方多数のご入会を心からお待ちしております。

音色さわやか

風鈴祈禱

風鈴のご奉納を承ります

風鈴の音色には悪魔退散、厄難消除の霊力があると信じられています。

昨年に引き続き御奉納いただき、風受けの短冊に願ひ事を記し、鈴の音にのせて祈りを届ける御祈願を齎行いたします。

●奉納内容

●ご家庭で使用の風鈴を神社へお寄せ下さい。

- 新たに風鈴をご購入の上、御奉納希望の場合も承ります。（神社にて新しい風鈴をご用意致します。初穂料金1,000円）
- 風鈴に付ける短冊は神社で用意致しますので住所・氏名・願ひ事をご記入願ひます。
- 奉納者の願ひ事は朝拝時（毎朝のおつとめ）の際に祈願申し上げます。

●展示期間

7月1日より8月31日まで

●祈願祭の募集期間

8月下旬まで（期間中随時申し受けます）

※奉納頂きました風鈴は神楽殿へ吊し、期間中飾ります。

◆連絡先

穂高神社社務所

☎0263-82-2003



●崇敬会通信

6月7・8日と「お伊勢参りの旅」に行  
つてまいりました。

会員の皆様のご都合もあり少人数の旅とな  
りましたが、来年の式年遷宮を控えた活  
気あふれる神宮にふれる有意義な旅行とな  
りました。

毎年1回は研修旅行を实地致しますので、  
お気軽に参加して頂き、会員皆様の親睦を  
はかりましょう。また、こういう企画をし  
て欲しいとか要望がございましたら穂高神  
社まで連絡下さい。

●崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする二十一年に一度御本殿一殿  
を造り替える式年大遷宮祭と北アルプスのふも  
との安曇野が心と技を捧げる御船祭は、長い歴  
史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴し  
ています。

海の恵みと山（陸）の幸を併せ持った御神徳  
は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神  
縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂けま  
すよう「穂高神社崇敬会」のご案内を申し上げ、  
一人でも多くの皆様方にご入会頂けますようお  
勧め申し上げます。

会員種別入会金（年会費）

- 一、個人会員 三、〇〇〇円
- 一、法人会員 五、〇〇〇円
- 一、名誉会員 一〇、〇〇〇円

●崇敬会新入会員

（平成23年11月1日～平成24年4月31日）

●法人会員

（有）吉富電気

●個人会員

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 小林 美穂 | 石井 昭一 | 石井 航隆 |
| 石井由紀子 | 中島 孝幸 | 中島喜美子 |
| 山田 俊光 | 立花 基宏 | 大谷 直孝 |
| 原 拓也  | 河西 潔  | 聖城 幸弘 |
| 小島 隆子 | 春日 啓  | 吉川 嘉彦 |

●掛け軸奉納

小島東隆（隆子）様より掛け軸「飛天圖」  
（平成23年公募全日展 全日展芸術賞受賞  
作品）の奉納があり、2月26日に拜殿にて  
奉納式を行いました。

小島様は、大町市生まれで東京都墨田区  
在住の水墨画家であり、穂高神社の益々の  
発展を願い奉納頂きました。  
厚く御礼申し上げます。



●第28回安曇野道祖神まつり

「安曇野で道祖神を語る集い」

●ご案内

8月25日（土）・26日（日）開催  
（2日間）

内容 ●道祖神祭り

●講演会

●道祖神めぐり

多数ご参加頂きますようご案内申し  
上げます。

◆問い合わせ

穂高神社社務所

☎0263-82-2003

●第13回

●子供相撲大会参加者募集

元気に相撲をしよう!!

9月8日（土）の子供祭の際、例年通り  
子供相撲大会が南神苑の土俵にて開催  
されます。

穂高地区内の男女小学生なら誰でも  
参加できます。友達を誘って、大勢のご参  
加をお待ちしています。



参集殿リニューアル

一つ上の上質を目指して

この度15年ぶりに参集殿をリニューアル致しました。

壁には社紋がちりばめられ格調高い落ち着いた雰囲気の中、心地よい一時をお過ごし頂けます。又、ガラス窓をパテーションで光を遮ると異空間になり宴会、会議、催し物など多目的にご利用頂けます。



各祭典行事

6月30日	大 祓	午後5時
7月14日	八坂社宵祭	午後8時
15日	本祭	午前10時
25日	鹿島社宵祭	午後8時
26日	本祭	午前10時
8月2日	祖霊祭	午後5時
15日	穂高霊社御霊祭	午後8時
9月8日	子供祭宵祭	午後8時
9日	本祭	午後3時
26日	宵祭	午後8時
27日	本祭	午後3時
10月7日	山岳遭難者慰霊祭	午後5時
8日	奥宮例祭	午前11時
11月19日	列格記念祭	午前11時

豆知識

〇〇神宮、〇〇神社の名称について

「神宮」「神社」の名称は、神社名に付される称号で社号といえます。現在、単に「神宮」といえば、伊勢の神宮を示す正式名称として用いられています。また「〇〇神宮」の社号を付されている神社には、皇祖をお祀りしている霧島神宮や鹿兒島神宮、また天皇をお祀りしている平安神宮や明治神宮などがあります。その他、石上神宮や鹿島神宮・香取神宮など特定の神社に限られています。これに対して「神社」はその略称である「社」とともに「一般の神社に対する社号」として広く用いられています。

また「宮」や「大社」などの社号もあり、「宮」は天皇や皇族をお祀りしている神社や由緒により古くから呼称として用いられている神社に使われます。「大社」はもとも天孫に国譲りをおこない、多大な功績をあげた大国主命を祀る出雲大社を示す社号として用いられてきました。しかし、現在「大社」は、広く崇敬を集める神社でも使われています。このように神社により社号は異なりますが、それぞれの神社に対する人々の厚い信仰にはいささかの変わりもありません。

舞姫募集

由緒ある穂高神社の御神前で、「浦安の舞」を奉納していただける舞姫を募集しています。

募集要項

舞奉納の日程 平成24年9月8日・9日(こども祭)  
平成24年9月26日・27日(例祭)

募集学年と人数 氏子地区内の小学校女児 4年生4名  
5年生3名、6年生4名

定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。

お申し込み・お問い合わせ先 穂高神社社務所 ☎82-2003



● 新人職員紹介



はやし 林 唯 18歳 安曇野市穂高

昨年の正月よりアルバイトとしてご奉仕させて頂いておりましたが、四月一日より正規の職員として奉職させて頂いております。宮司さんをはじめ、職員の方々には温かく迎えて頂き大変有難く感じております。

ご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、皆様方のご指導のもと一日も早く仕事に慣れ、先輩方のような巫女になれるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

お守りを見ている参拝者から「お神札やお守りをたくさん持つてると神さま同士がケンカしちゃうよ」と言う声がたびたび聞こえてきます。八百万神という言葉があるように、日本には多くの神さまがいらっしやいます。神さまは、それぞれの御神徳をもって協力して私たちを守ってくださるのです。なのでお神札やお守りはいくつ持つていても大丈夫です。